

質 問 回 答 書

※ この MS-WORD 文書のまま送付お願いいたします。(PDF 等のフォーマットへ変換しないでください)

2021 年 10 月 1 日

「パプアニューギニア国電力系統計画・運用能力向上プロジェクト」

(公示日:2021 年 9 月 15 日/調達管理番号:21a00515)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	P.27 (16)成果 2 に関する活動 活動2-4および2-5	「変電所、送電線の機材の試験・評価等に必要 な測定機材の調達についても検討する」とありま す。本件についてはプロジェクト期間において要 否を検討するため、プロポーザルでの機材費の 計上は不要との認識でよろしいでしょうか。	ご理解の通り、プロジェクト期間で要否検討を行 うため、機材費の計上は不要です。
2	P.25 (13) 研修及び実務マニユ アル、標準手順書の策定	本企画競争説明書における、「研修マニュアル」 と「実務マニュアル」、「SOP(実施手順書)」それ ぞれの違いをご教示ください。	それぞれの違いは以下の通りです。 「研修マニュアル」 PPL のトレーナーが将来的に技術者に対してトレ ーニングを実施する上で使用するテキスト。 「実務マニュアル」 業務に係る全体的な工程や基本方針、規則等を まとめた文書。 「SOP(実施手順書)」 業務マニュアルを踏まえて、現場で実務作業を行 う際に使用されることを想定した業務のより具体

			的な工程や注意点等をまとめた文書。工程や安全管理のチェックリスト、業務の記録や報告方法等を含む。
3	P.20(3)研修実施方法 1)オンライン研修	PPL 遠隔トレーニングを受けるための適切な設備(ディスプレイ、マイク、インターネット中心)が整ってない場合はプロジェクト側から提供となるのでしょうか。	これまでのPPLとの協議においてはオンラインの環境は問題ありませんでしたので想定はしておりません。事業開始後必要と判断される場合は別途契約変更により購入する可能性はあります。
4	P.20(3)研修実施方法 2)本邦研修	コロナ禍の関係で現地渡航が厳しいと予想された場合は本邦研修期間を延ばして現地予定の教育を延長した本邦研修で実施可能でしょうか。	現地研修は2023年に実施を予定しており、その時の状況を見て最終的には判断することになると考えます。他方で現地の文脈に合わせた現場での技術移転は重要であるところ、可能限り実施頂きたいと考えています。
5	P.20(3)研修実施方法 3)現地研修	現地研修においてPPLが必要な工具、消耗品及び計測器を所有していない場合はプロジェクト側からの提供となるのでしょうか。	ご理解の通りです。プロジェクト期間でPPLの機材の状況を確認し、必要に応じて機材供与を検討する想定です。
6	P.31 第4章業務上の条件 (2)業務量目途と業務従事者構成案 2)業務従事者の構成案	「⑥機材試験／評価」において、保守管理を維持していく上で必要となる「試験機材の扱い方」をイメージしていますが、試験対象となる設備はどのような設備を想定されておりますでしょうか。	主に送電線／変電所で使われている変圧器、遮断器、碍子等の機材を想定していますが、より詳細な状況調査を踏まえて対象機器を検討していく予定です。

以上